

- 問1 明治政府が1872年に発布した、日本で最初の近代的な学校制度を定めた法令の名称として正しいものを選択してください。 (2023年 新潟県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|--------|---------|
| 1. 学制 | 2. 教育基本法 | 3. 学校令 | 4. 教育勅語 |
|-------|----------|--------|---------|
- 問2 1868年から1869年にかけて行われた戊辰戦争の経過について述べた次の文のうち、その終結に至るまでの説明として最も適切なものはどれか。 (2017年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 五街道の起点であり政治の中心地であった江戸において、江戸城が無血開城された時点で戦争の全行程が完了した。 | 2. 「天下の台所」と呼ばれた大坂にある大阪城が落城したことをもって、新政府軍に対する旧幕府軍の抵抗はすべて終了した。 | 3. 琵琶湖のほとりに築かれた安土城が戦いの舞台となり、新政府軍が旧幕府軍を完全に圧倒したことで戦争が終結した。 | 4. 鳥羽・伏見の戦いに始まった戦いは、最終的に北海道の五稜郭に拠点を置いた旧幕府軍が降伏したことで終結した。 |
|---|---|--|---|
- 問3 1872年に鉄道が開通した当時、明治政府は産業の育成（殖産興業）にも力を入れていました。鉄道が開通したのと同じ年に操業を開始した、赤レンガ造りの建物と蒸気機関の煙突を特徴とする、群馬県に設置された官営模範工場の名称を答えてください。 (2019年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. 長崎造船所 | 2. 八幡製鉄所 | 3. 富岡製糸場 | 4. 大阪砲兵工廠 |
|----------|----------|----------|-----------|
- 問4 幕末から明治維新にかけての政治的な動きについて、土佐藩出身の坂本龍馬らが仲介役となり、それまで対立していた薩摩藩と長州藩が結んだ軍事同盟を何といいますか。 (2021年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1. 版籍奉還 | 2. 大政奉還 | 3. 薩長同盟 | 4. 五箇条の御誓文 |
|---------|---------|---------|------------|
- 問5 明治政府が「文明開化」という社会現象を後押しし、急速な西洋化を進めた大きな目的は何ですか。 (2026年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|--|---|------------------------------------|
| 1. 農業を国の中心産業に据え、農民の生活を安定させて一揆を防ぐため。 | 2. 隣接するアジア諸国との友好関係を深め、東アジア共通の文化圏を創るため。 | 3. 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。 | 4. 江戸時代の伝統文化を完全に消し去り、天皇の権威を否定するため。 |
|-------------------------------------|--|---|------------------------------------|
- 問6 1873年から実施された地租改正において、それまでの年貢（租税）の制度と大きく異なる点として正しい説明はどれですか。 (2026年 山形県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 身分によって税率が異なる仕組みを廃止し、全ての国民が所有する農具や家屋の数に応じて現金で納めるようになった。 | 2. 土地の面積のみを基準とする仕組みに変わり、収穫した米を直接政府へ納める物納の制度が強化された。 | 3. 村全体で一括して税を納める仕組みを廃止し、収穫量の3パーセントを基準として米で納めるようになった。 | 4. 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。 |
|---|--|--|--|
- 問7 18世紀後半から19世紀にかけてのイギリスでは、技術革新によって社会が大きく変容しました。この時期、綿織物の大量生産を可能にし、のちに鉄道などの交通機関にも利用された動力源と、その主な燃料の組み合わせとして正しいものはどれか。 (2022年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------------|---------|------------|------------|
| 1. 電気モーターと天然ガス | 2. 水車と薪 | 3. 蒸気機関と石炭 | 4. 内燃機関と石油 |
|----------------|---------|------------|------------|
- 問8 明治政府は、近代的な国家運営のための安定した税収を確保することを目的として、地租改正を実施しました。この際、政府が土地の価格（地価）を定め、その所有権を正式に認めるために土地所有者へ発行した証書を何といいますか。 (2022年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|-------|--------|------|
| 1. 検地帳 | 2. 地券 | 3. 口分田 | 4. 惣 |
|--------|-------|--------|------|
- 問9 明治政府は、欧米の先進的な技術や学問、制度を迅速に取り入れることで国家の近代化を目指しました。このとき、当時の日本人の給与に比べて非常に高い給与を支払って、海外から招いた専門家のことを何と呼びますか。 (2017年 奈良県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|--------|
| 1. お雇い外国人 | 2. 文明開化 | 3. 遣外使節 | 4. 開拓使 |
|-----------|---------|---------|--------|
- 問10 江戸から東京へと改称された都市部を中心に、西洋の文化が取り入れられた当時の様子を説明したものとして、最も適切なものはどれか。 (2023年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 身分制度が強化され、職業や住居の選択の自由が失われた。 | 2. ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。 | 3. 鎖国が継続され、外国の技術や思想を取り入れることが厳しく制限された。 | 4. 武士が刀を差して歩く姿が一般的になり、伝統的な建築様式が義務付けられた。 |
|--------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問11 明治政府が地租改正を行い、税を収穫高ではなく「地価」を基準に、米ではなく「貨幣」で納めさせるようにした最大の目的は何ですか。 (2014年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------------|
| 1. 農村における米の消費量を増やし、自給自足を促すため | 2. 米の価格の変動を抑え、農民の生活を保護するため | 3. 豊凶に関わらず、政府の税収を安定させるため | 4. 土地の所有権を政府に集約し、国有地を拡大するため |
|------------------------------|----------------------------|--------------------------|-----------------------------|
- 問12 明治初期の東京において、人口が一時的に100万人から60万人規模まで減少した現象に関わり、当時の社会制度の変化について述べた文として正しいものはどれですか。 (2025年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 江戸から東京への改称に伴い、旧幕府に関係していた全ての居住者が都市部から追放される法令が出された。 | 2. 版籍奉還によって土地と人民が天皇に返還された際、東京の住民はすべて強制的に出身地へ帰された。 | 3. 武士が特権を失ったため、新たな職業を求めて北海道の開拓に従事する土族授産が東京の全人口の半数に適用された。 | 4. 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。 |
|--|---|--|---|
- 問13 明治政府が租税制度を改革し、地価を基準とした一定額の現金を徴収する仕組みを整えた最大の目的は何か。 (2017年 鹿児島県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
| 1. 土地の売買を禁止することで、農民が土地を手放さないようにするため | 2. 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため | 3. 米の市場価格を政府がコントロールし、物価の安定を図るため | 4. 農村の貧富の差をなくし、すべての農民の負担を均等にするため |
|-------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|
- 問14 明治新政府が1868年に発表した五箇条の御誓文において、「広く会議ヲ興シ、万機公論ニ決スベシ」という一文を盛り込んだ背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2022年 千葉県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 江戸幕府の旧来の制度をそのまま引き継ぎ、将軍が中心となって政治を行うことを宣言するため | 2. 天皇がすべての政治判断を一人で行い、国民はそれに従うだけでよいという強い権威を示すため | 3. 特定の藩や人物による独裁を避け、広く諸藩の意見を取り入れて政治を行う姿勢を示す必要があったから | 4. 外国との不平等条約を直ちに破棄し、再び鎖国体制に戻ることを国内外に知らせるため |
|--|--|--|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 学制	明治政府は、欧米列強に並ぶ「富国強兵」を実現するためには国民の知識水準を上げることが不可欠であると考え、1872年にこの法令を発布しました。「国民皆学」を掲げ、身分や性別に関係なくすべての国民が小学校教育を受けることを目指したものです。教育勅語は1890年に発布された教育の指針であり、教育基本法は第二次世界大戦後に制定された法律です。
問2	答え 4 鳥羽・伏見の戦いに始まった戦いは、最終的に北海道の五稜郭に拠点を置いた旧幕府軍が降伏したことで終結した。	戊辰戦争は1868年、京都での鳥羽・伏見の戦いから始まりました。その後、戦いの舞台は東日本へと移り、江戸の無血開城や東北地方での会津戦争などを経て、最終的には北海道の函館にある五稜郭に立てこもった旧幕府軍が降伏するまで続きました。この五稜郭での戦いが、明治維新に伴う国内最大の内戦の終わりを意味しています。
問3	答え 3 富岡製糸場	明治政府は外貨を獲得するために、主要な輸出品であった生糸の品質向上と増産を目指しました。そこでフランスの技術を導入し、1872年に群馬県に富岡製糸場を設立しました。当時の最新技術の象徴である赤レンガ造りの建物は、鉄道の開通とともに日本の近代化を象徴する出来事でした。
問4	答え 3 薩長同盟	1866年、長年対立していた薩摩藩と長州藩が、坂本龍馬や中岡慎太郎の仲介によって提携しました。この軍事同盟が成立したことで、倒幕勢力が一気に結集し、武力による幕府打倒の動きが現実的なものとなりました。
問5	答え 3 日本が近代国家になったことを欧米諸国に示し、不平等条約の改正を有利に進めるため。	当時の日本にとって、幕末に結ばれた不平等条約の改正は最大の外交課題でした。政府は、日本の制度や生活様式が欧米並みに近代化されていることを証明することで、対等な立場での条約交渉を目指しました。そのため、鹿鳴館（ろくめいかん）を建設して外国使節を接待するなど、形の上での西洋化も重視されました。
問6	答え 4 豊作や凶作によって変動する収穫量を基準にするのではなく、土地の価値である地価を基準とし、現金で納めるようになった。	明治政府は、政府の収入を安定させるために地租改正を行いました。江戸時代の年貢は収穫量に応じて変動する「米による物納」でしたが、この改革によって、土地の価格である「地価」を課税基準とし、天候などの影響を受けない「現金による金納」へと改められました。これにより、政府は毎年の予算を立てやすくなりました。
問7	答え 3 蒸気機関と石炭	産業革命期のイギリスでは、ワットらによって改良された蒸気機関が普及し、それまでの水力や人力を上回る圧倒的な動力を得ることが可能になりました。この蒸気機関を動かすための主要なエネルギー源として石炭が大量に採掘され、工業化の進展を支えました。この動きは綿工業から始まり、のちに製鉄業や鉄道、蒸気船といった交通の分野へも広がっていきました。
問8	答え 2 地券	明治政府は、それまでの不安定な年貢制度に代わり、土地の所有者に地価の3%（後に2.5%）を現金で納めさせる地租改正を行いました。このとき、土地の所有権を法的に証明し、納税の義務を明確にするために「地券」が発行されました。これにより、土地は個人の財産として自由に売買や担保にすることが可能になりました。
問9	答え 1 お雇い外国人	明治政府は、欧米諸国に対抗できる近代的な国家をつくるため、軍事、建築、教育、医学、法制など幅広い分野で指導者を招きました。彼らの指導は日本の近代化に大きく貢献しましたが、政府の予算において大きな負担となったため、日本人の技術者や専門家の育成が進むにつれて、次第に日本人へと交代していきました。
問10	答え 2 ザンギリ頭や洋装、レンガ造りの建物やガス灯の設置が普及した。	明治初期の東京では、それまでのチョンマゲを切り落とした「ザンギリ頭」が流行し、銀座などではレンガ造りの街並みが整備されました。このように、生活の隅々にまで西洋の文化が浸透していったことが、当時の大きな特徴です。
問11	答え 3 豊凶に関わらず、政府の税収を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫高に応じて決まっていたため、凶作の年には政府の収入が激減し、国家予算を立てることが困難でした。地価に応じた一定額を貨幣で徴収する地租改正により、政府は気候や作柄に左右されることなく、計画的で安定した国家収入を得ることが可能になりました。
問12	答え 4 廃藩置県によって藩が廃止され、大名や武士が領地の管理から離れて帰郷したことが人口減少の要因となった。	江戸時代の東京（江戸）は、参勤交代制度によって全国の大名やその家臣が集まる政治の中心地として人口が膨れ上がっていました。しかし、明治維新後の廃藩置県によって、それまでの藩という枠組みが消滅し、武士たちは東京に留まる公的な理由を失いました。これにより、多くの武士が家族を連れて自らの領地や故郷へ引き揚げたことが、当時の統計における急激な人口減の直接的な理由です。
問13	答え 2 豊作や不作といった天候に左右されず、政府の予算を安定させるため	江戸時代の年貢は収穫量に応じて納める額が決まる「取箇（とりか）」の仕組みだったため、不作の年は政府の収入が激減するという課題がありました。地租改正によって、収穫高に関わらず「地価」という固定された基準に基づいて「現金」で納税させる仕組みに改めたことで、政府は国家予算を計画的に立てることが可能になりました。
問14	答え 3 特定の藩や人物による独裁を避け、広く諸藩の意見を取り入れて政治を行う姿勢を示す必要があったから	明治新政府は発足したばかりで基盤が不安定だったため、幕府を倒した有力な藩だけでなく、全国の諸藩の協力を得る必要がありました。そのため、一部の勢力が勝手に物事を決めるのではなく、「万機公論」すなわち開かれた議論によって政治を進めるという方針を打ち出すことで、国民や諸藩の支持を得ようとしたのです。これが後の自由民権運動において、議会の開設を求める根拠の一つにもなりました。